

○議会を終えて

○新型コロナウイルス感染症への対応について

堺市ウィズコロナ取組方針

基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症の有効な治療薬やワクチンの完成に至っていない中、感染拡大防止と地域経済回復を両立させながら第2波への体制を整える

ウィズコロナ
(感染拡大防止と回復期)

アフターコロナ

1. 感染症の拡大防止・第2波への備え

2. 暮らしを支え、地域経済を守る

3. 『堺スタイル』の浸透と新しいライフスタイル／ワークスタイルへの挑戦

コロナ危機を
乗り越え
未来につなぐ

○検査体制・医療体制の確保

○「堺シグナル」の導入

検査体制・医療体制の確保

○ 検査体制の更なる拡充

PCR検査可能件数 【現状】 200検体/1日 ⇒ 【目標】 350検体/1日

主体	取組内容	現在値	目標値
衛生研究所	最新試薬・機器導入	60検体	60検体
医療機関・民間検査機関	機器購入（府補助の活用）等	140検体	290検体

【背景】濃厚接触者全員を検査対象 等 【手法】唾液による検査の実施 等

○ 医療体制の確保

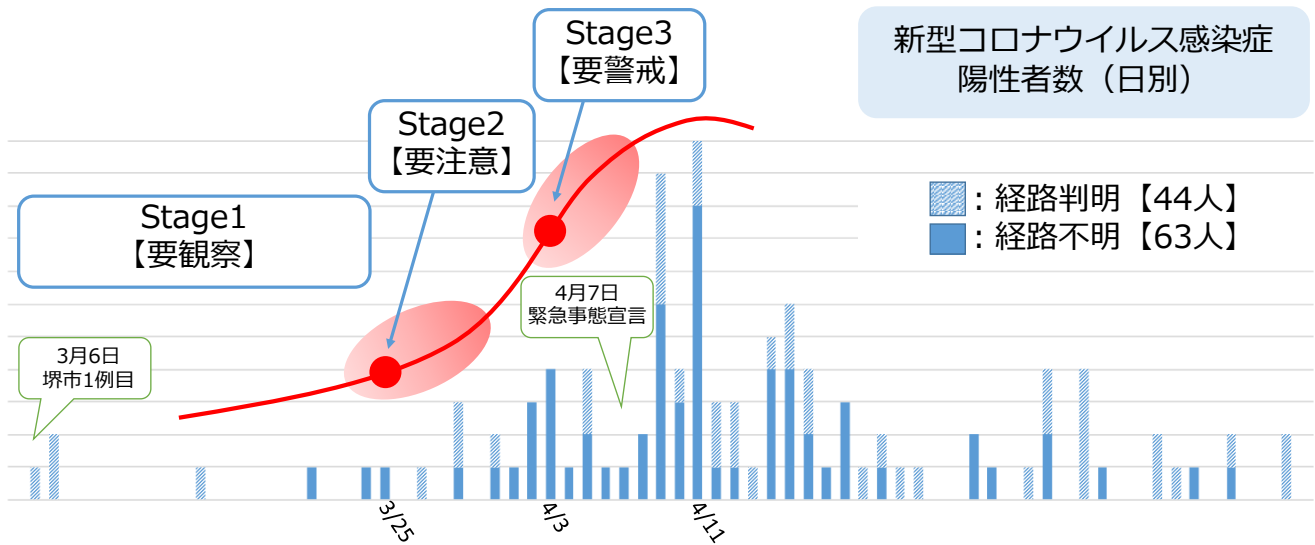
堺市立総合医療センター（感染症指定医療機関）
現状に加え、第2波への備えとして必要な病床を確保

○ 医療用物資の確保 補正予算 37,938千円

	N95マスク	防護服・ガウン	フェイスシールド	消毒液
補正予算分	約8,500枚	約13,000着	約11,000個	約2,400ℓ
合計確保数	約15,700枚	約175,000着	約43,000個	約2,500ℓ

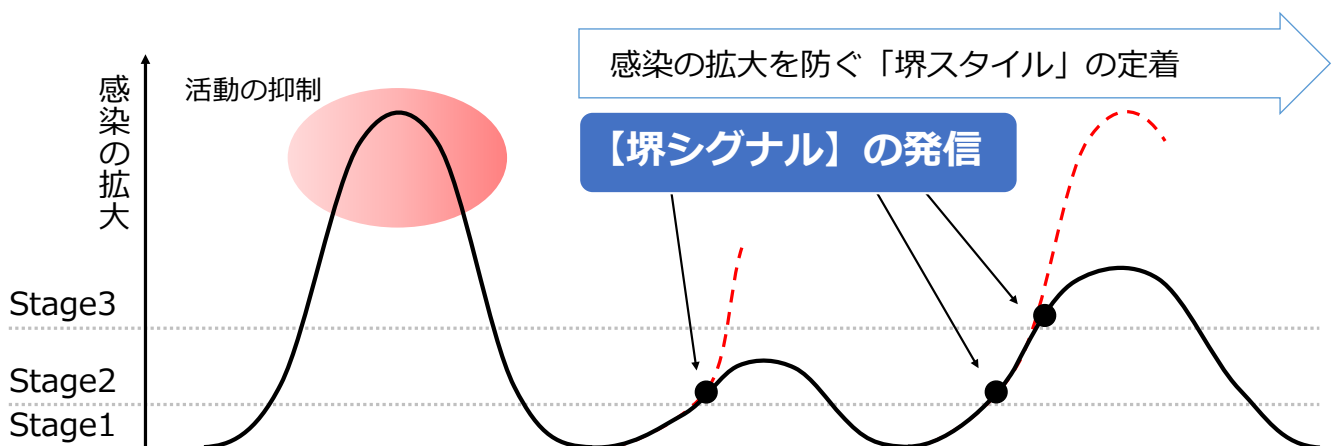
○ 第2波の予兆を察知

新型コロナウイルス感染症
陽性者数（日別）



Stage1	Stage2	Stage3
【要観察】	【要注意】	【要警戒】
感染が抑制できている	感染が拡大しつつある	感染が拡大している
直近1週間の累積感染経路不明者数		
2人以下	3人以上	7人以上

○ 新型コロナウイルス感染症への対応イメージ



	Stage1 【要観察】	Stage2 【要注意】	Stage3 【要警戒】
堺シグナル	<ul style="list-style-type: none"> ○「堺スタイル」の実践 ・ホームページ、広報さかい、SNS等 	<ul style="list-style-type: none"> ○感染防止対策の再確認と徹底 ・ホームページ、広報さかい、SNS等 ・防災無線の放送 ・区広報車等による巡回 	<ul style="list-style-type: none"> ○不要不急の外出を控える ・ホームページ、広報さかい、SNS等 ・防災無線の放送 ・区広報車等による巡回 ・立看板の設置、ポスターの掲示

※Stage2・3に応じた取組みは概ね2週間継続

○ファイナンシャル・プランナーによる家計相談

○保育料の減免対象の拡大

ファイナンシャル・プランナーによる家計相談



経済的に不安を抱えている世帯の 生活再建に向けた相談支援

～相談をきっかけとして、“お金に関するリテラシー〔理解と活用〕”を高めていただきたい！～

ファイナンシャル・プランナーによる無料個別相談

対象者：児童扶養手当受給世帯等

相談内容：給付金を含めたお金の使い道をサポート

体制整備：日本FP協会との連携（コロナでの自治体との連携は全国初）



※ これまで周知が行き届いていなかった世帯にも積極的に働きかけるため、ひとり親世帯臨時特別給付金の案内時（7月下旬）に本事業をPR

○新型コロナウイルス感染症の影響で、今年の収入が著しく減少した世帯の保育料を減免

	昨年の 年収	現在の 保育料		今年の 推定年収	再算定後の 保育料
	910万円まで	4万5千円		910万円まで	4万5千円
	700万円まで	4万円		700万円まで	4万円
	550万円まで	3万円	減額	550万円まで	3万円
	480万円まで	2万5千円		480万円まで	2万5千円
無償化	380万円まで	0円		380万円まで	0円
	330万円まで	0円		330万円まで	0円

※減免期間は、令和2年8月から令和3年3月末までのうち、申請翌月から3か月分(再申請可能)

3. 「堺スタイル」の浸透と 新しいライフスタイル / ワークスタイルへの挑戦

○堺スタイル

○堺スタイル・ビジネス・コンテスト (SBC)

○市立学校でのサーモグラフィの活用

「堺スタイル」の目的

感染防止と地域経済回復の両立をめざし、
窮屈過ぎない日常生活で、第2波を「遅く・小さく」

めざすべき方向性

感染予防対策を実践しやすいように周知
新しい生活様式を基本とし、市民・事業者・来訪者にもわかりやすく示す

ICTなど新しい技術を活用した生活・働き方の提案
産学官連携による非接触などの新しい技術・サービスの導入

堺スタイルの浸透

堺での日常

-  フェニーチェ 観劇
-  博物館 拝所前 古墳巡り
-  さかい利晶の杜 呈茶
-  大仙公園 運動 遊び
-  レストラン 店舗 食事 買い物
-  オフィス 仕事
-  交通 通勤・通学など

感染予防の行動

- 基本的な感染予防**
手洗い マスク 咳エチケット 健康チェック...
- +**
- イベント会場・観光施設**
席の間隔を空ける 少人数で行動 定期的に換気
- 公園遊び**
周りの人との間隔をとる 長時間の滞在は避ける
- 食事・買い物**
大皿料理や回し飲みは避ける 事前に予約 電子決済を活用
- 仕事・通勤**
テレワーク 時差出勤 公共の場での会話は控えめに
- 地域でのコミュニティ活動**
密集・密接を避ける 症状があるときは自宅待機

わかりやすく発信

市民が日常のシーンで実践
⇒ ポスター




事業者が自らの事業所等で発信
⇒ ピクトグラムを自由に 選んでカスタマイズ



**感染拡大防止と
地域経済回復の両立**

さかい利晶の杜

をご利用の皆さまへ

感染予防のお願い



堺スタイル・ビジネス・コンテスト (SBC)



ICTなど新しい技術を活用した生活・働き方の提案関連の取組

民間の新たな発想を活用して
コロナ禍の社会課題を解決

- 提案テーマ例 (イメージ)
- ・ 教育×ICTによる
学習機会の多様化

【実施概要】

- 堺スタイルを進めるための民間アイデアを広く募集
- 優れた提案にビジネス実証等のための資金を提供

最優秀賞：最大100万円 (1者)
優秀賞：最大50万円 (4者)
公募開始：7月 (予定)
結果発表：10月 (予定)



- ・ サーモグラフィ×ICTによる
混雑具合の見える化

ウィズコロナ/アフターコロナ時代への対応



登校時の健康観察 モデル校（小学校 2 校）で検証

